

慶應義塾大学 戦略的研究基盤形成支援事業・  
コミュニケーション行動の生涯発達研究拠点

## LSDCOM講演会

# 「言語とコミュニケーションの脳科学」

コミュニケーション行動の生涯発達研究拠点(LSDCOM)ではコミュニケーション行動について心理学・理工学部・医学部による分野横断的研究を行います。LSDCOM講演会はコミュニケーション行動についての講演会シリーズです。今回は言語とコミュニケーションの脳科学についてお二人の研究者にご講演いただきます。特にMueller氏には言語獲得に関連するトピック、幕内氏にはfMRIを用いた成人の文法処理の研究などをお話しいたします。

2017年

日時

7月31日 月 15時～17時

場所：慶應義塾大学三田キャンパス大学院校舎1階 312教室  
<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

講演

15:00～16:00

「How the brain uses language as a tool for  
memory」

Jutta L. Mueller (Universität Osnabrück)

講演

16:00～16:40

「fMRI study of Japanese」

幕内 充 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
・高次脳機能障害研究室)

上記は質疑を含めた時間です。すべて英語での講演となります(通訳等はありません)。  
事前登録等は不要です。

主催：慶應義塾大学日吉心理学研究室・コミュニケーション行動の生涯発達研究拠点 皆川泰代  
<http://lsdcom.keio.ac.jp/>

共催：科学研究費基盤研究(A)「言語と社会認知能力を支える脳機能の定型・非定型発達の解明」

問合せ：同研究拠点事務局 相吉 [tomomiaiyoshi@gmail.com](mailto:tomomiaiyoshi@gmail.com)